

分野	重点目標	具体的な取組	自己評価		学校関係者評価	今後の改善方策
			評価指標	達成状況		
学習指導	基礎基本の定着と実践的・体験的なビジネス教育を推進する。	・チームを作り、チームの中で教員相互の授業参観を実施し、分かりやすい授業の工夫・改善を行う。	・基礎力確認調査において、2年生の目標正答率を56%にする。 【47%（達成率84%）】	B	・英語は目標正答率を上回り、県平均よりもよく成果が上がっている。授業時数は少ないと思うが、国語、数学も目標値に近づくことを期待している。県平均が56%に届いていない状況で目標値は高すぎるのではないかと。	・英語はここ5年間で一番良い成果が上がった。5年間で56%に届いていない教科は国語だけであるが55%までは到達している。生徒が多様化しているが、個別の指導や反復の練習で理解促進を図り、正答率56%を目指して取り組む。
		・年4回の考査後に生徒による授業評価アンケートを実施し授業改善に取り組む。	・基礎力確認調査後の質問紙調査において授業が分かるか答える2年生の割合を72%にする。 【74%（達成率103%）】	A	・授業が分かるか答えた生徒の割合が、国語、数学、英語とも県平均より上回っているが、目標値に届いていない教科もある。生徒も多様化しているので更に授業改善に取り組んでもらいたい。	・授業評価アンケート結果が授業改善に活かされているかを検証し、分かる授業のための指導・工夫・改善について教科内での研修を更に深める。
		・課題を計画的に出し、家庭学習に積極的に取り組ませる。	・学校評価において課題を計画的に出す教員の割合を90%にする。 【75%（達成率83%）】	B	・教職員の自己評価のポイントは昨年と同様である。目標値が高くなった分達成率が下がっている。計画的に課題を出していないと答えている先生方への働きかけが必要である。	・家庭学習週間等を利用し、課題が出された状況を各教科担当者が可視化できるように教室表示しながら計画的に課題を出せるように取り組む。
			・基礎力確認調査後の質問紙調査において家庭学習1時間以上の2年生の割合を50%にする。 【55%（達成率110%）】	A	・部活動との両立もあるが、1時間の家庭学習が確保できるように、生徒の生活時間にも気を配ってほしい。	・教科間で連携し、生徒個々の情報を共有しながら、最低1時間家庭学習をする環境づくりに努める。
生徒指導	道徳教育を推進しながら基本的な生活習慣の確立を図り、目標を持って充実した高校生活を送る。	・いじめに関するアンケートを生徒向け4回、保護者向け2回を実施し、未然防止、早期発見・早期対応、情報共有に努め豊かな心の育成に取り組む。	・学校評価で、いじめ防止に良く取り組んでいると評価する生徒・保護者の割合を83%にする。 【生徒91%（達成率109%）】 【保護者85%（達成率102%）】	A	・生徒が安全・安心に学校生活を送れるように未然防止、早期発見に今後も取り組んでほしい。アンケートだけに頼るのではなく観察、情報収集に心がけ、命の大切さの指導にも努めてほしい。	・生徒、保護者へのアンケートを継続するとともに個人面談、三者面談、教育相談、スクールカウンセラーとの連携等で生徒が安心して相談できる環境をつくり学校生活が充実するように努める。 ・月1回の生徒情報を共有する場で生徒理解を図る。
		・集団活動の中で個に応じた役割を設定することにより、所属意識を高める。	・基礎力確認調査後の質問紙調査において自分にはよいところがあると思うと答える2年生の割合を67%にする。 【61%（達成率91%）】	A	・よいところがあるのに控え目に回答している生徒や思い込み、気がついていない生徒もいるのではないかと。先生方が生徒のよいところを褒めて伸ばしてほしい。	・自己肯定感を高めるために生徒個々が成長していることを観察し、面談や普段の会話等を通して伝え、生徒が自分自身を好きになる場面を数多くつくるように取り組む。
キャリア教育	社会人基礎力の育成を念頭に系統的なキャリア教育を推進する。	・進路ガイダンス、進路ノート、面談、社会人講話、企業見学、インターンシップ、進路体験講話等を通して自己理解に努めるとともに職業観・勤労観を醸成し進路実現に取り組む。	・学校評価で、きめ細かい進路指導をしていると答える保護者の割合を75%にする。 【75%（達成率100%）】	A	・学年に応じて外部機関と連携しての企業見学や進路セミナー、インターンシップ、ビジネスマナー研修等を実施し、生徒の進路希望に応じてきめ細かい指導を行っている。	・外部機関と連携して生徒の進路希望に応じた取り組みを継続するとともに、県内のものづくり企業についても理解を深め、進路意識の高揚を図る。
			・3年生の進路目標達成を100%にする。 【100%（達成率100%）】	A	・就職・進学ともすばらしい成果である。現1年生から大学入試制度が変わるので、対策に取り組んでほしい。 ・公務員合格者が増え成果が上がっている。	・生徒の希望する進路実現ができるように面接指導、課外、小論文指導等を全職員で取り組むとともに、教科指導を通してコミュニケーション能力を高める。
学校経営	チーム(学校組織)としての力を発揮するとともに、関係者と円滑な意思疎通を図る。	・面談の機会と時間を確保し生徒や保護者が相談しやすい環境をつくることと、学校ホームページや学年通信、進路情報等で保護者や地域に学校の情報を発信する。	・学校評価で、学校の情報や様子を知らせていると答える保護者の割合を75%にする。 【73%（達成率97%）】	A	・学校ホームページが滞っていることでもあるので、先生方も忙しいと思うが、タイムリーに更新してもらえると私たちも情報を得やすくなる。 ・部活動ごとに活動の様子が分かるようになると更に見やすくなる。	・学校ホームページや各種情報の工夫改善を図り、保護者・地域に対しての情報発信に努め、地域に根ざし地域社会に貢献する学校を目指す。